

情報リテラシー教育等の活動 —学習意欲を高める図書館サービス—

山形大学 小白川事務部
学術情報基盤センターユニット長
米澤 誠

1

1.1 ある小学校図書室の光景



朝から大にぎわいの図書室

一人平均140冊の年間貸出

2

1.1 ある小学校図書室の光景

97%の子どもが「学校が楽しい」

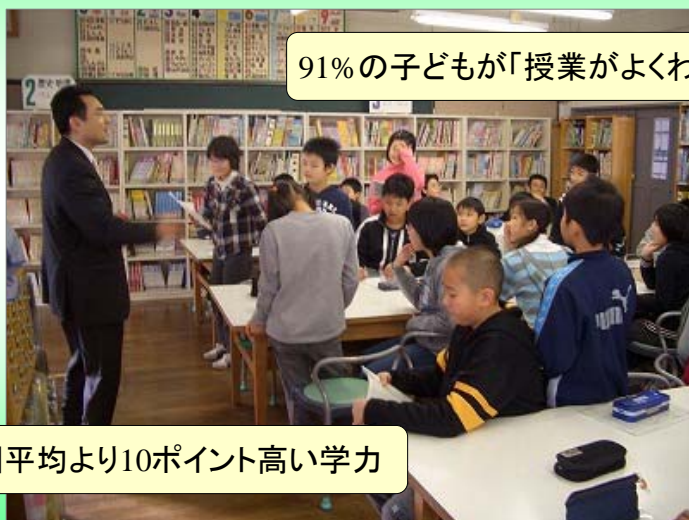


ここ3年間、不登校はない

3

1.1 ある小学校図書室の光景

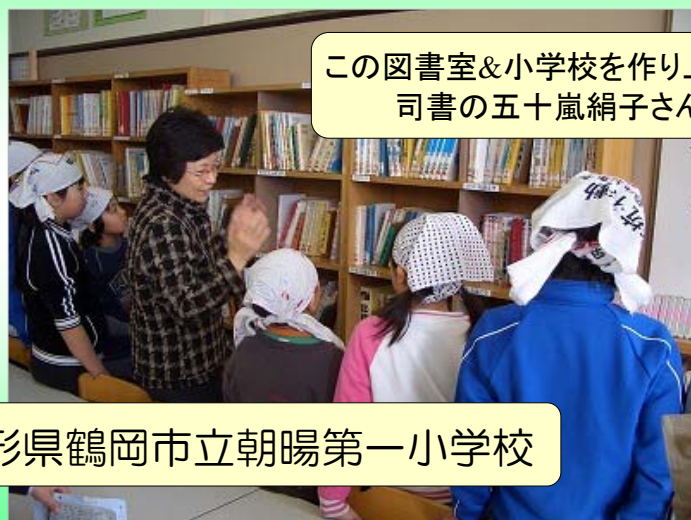
91%の子どもが「授業がよくわかる」



全国平均より10ポイント高い学力

4

1.1 ある小学校図書室の光景



この図書室&小学校を作り上げた
司書の五十嵐絹子さん

山形県鶴岡市立朝暘第一小学校

5

1.2 ある高校図書館の光景



50台の端末を使った調べ学習

年間100冊の必読書

6

1.2 ある高校図書館の光景



発表型の授業ができるスペース

中央大学附属高等学校（東京都小金井市）

3年生には8千字の課題レポート

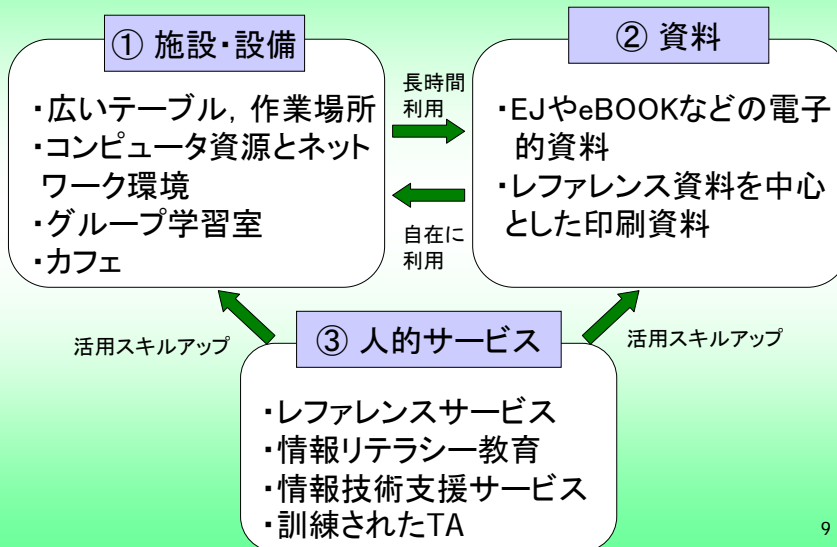
7

1.3 新しい図書館 = ラーニング・コモンズ

- ・各種情報資源を活用し、長時間リラックスして学習ができる
- ・グループ学習できるスペースがあり、プレゼン練習もできる
- ・レファレンスサービスや各種講習会を受けることができる
- ・スキャナー、プリンタ、マルチメディア加工設備が利用可
- ・コンピュータ設備についての技術的支援を受けることができる

8

1.4 ラーニング・コモンスの構成要素



2.1 情報リテラシーの定義

「情報リテラシーとは、情報の必要性を判断し、アクセスし、評価し、効率的に利用することができる能力のことである」

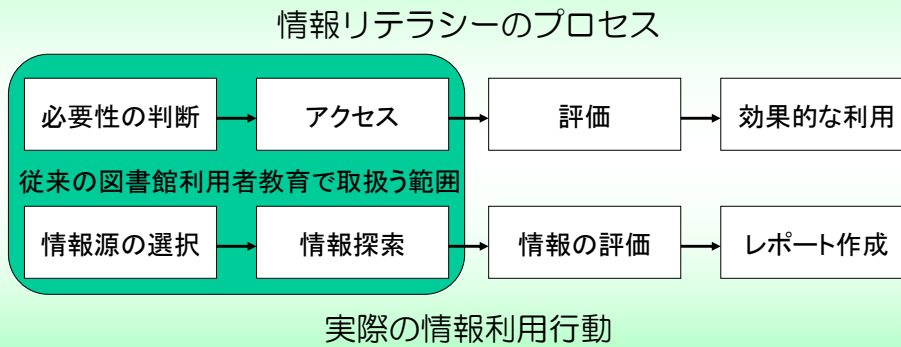
北米大学図書館協会（ACRL）の定義

「教育内容としては、学内LANを利用するために必要な操作方法・技術・ルールや、情報セキュリティ、倫理・マナーなどが行われています」

文部科学省『学術情報基盤実態調査』

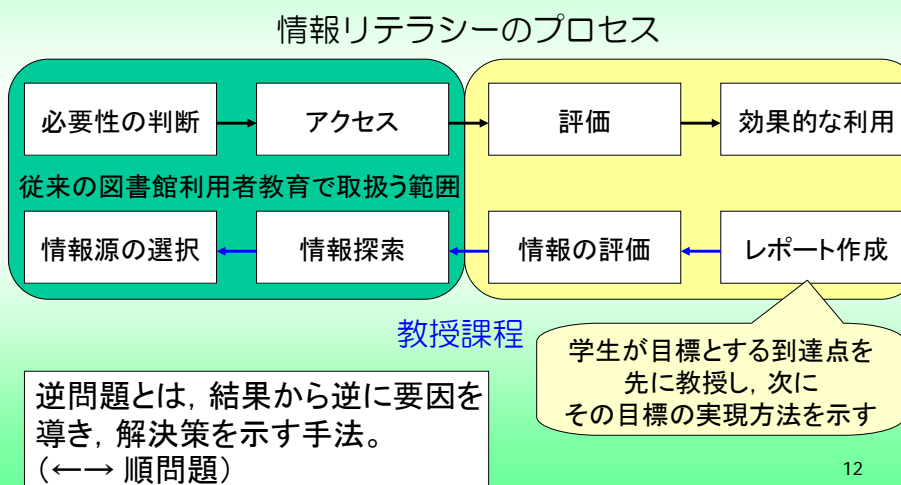
10

2.2 情報リテラシーのプロセス



11

2.3 逆問題的手法による改善



12

2.4 講習会「上手なレポートの作り方」

理工系学生のための講習会
場所：工学分館視聴覚室

上手なレポートの作り方

- ・10/18 (火) 16:20～
- ・10/19 (水) 16:20～
- ・10/27 (木) 16:20～
- ・10/31 (月) 16:20～

※ 各回は同一内容です。

上手な文献の探し方

- ・10/18 (火) 17:00～
- ・10/19 (水) 17:00～
- ・10/27 (木) 17:00～
- ・10/31 (月) 17:00～

※ 各回は同一内容です。

レポートを充実
するためには ↓

↑ 文献を有効に
使うためには

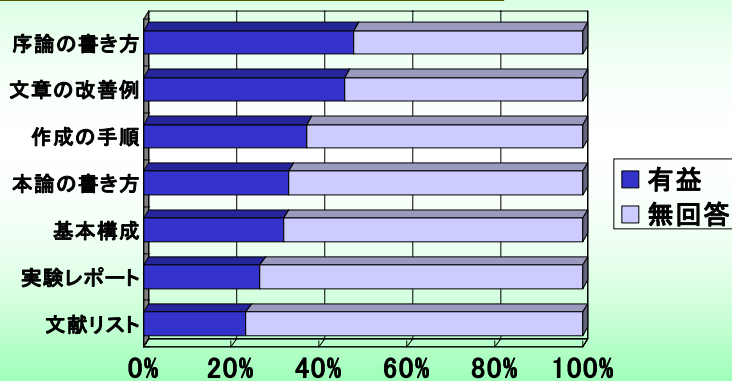
実験レポートの書き方も導入

- 作成の手順
- レポートの構成
- レポートの書き方
- 実験レポートのコツ

- 文献の種類
- 種類による探し方の見極め
- オンライン目録の使い方
- 論文データベースの使い方

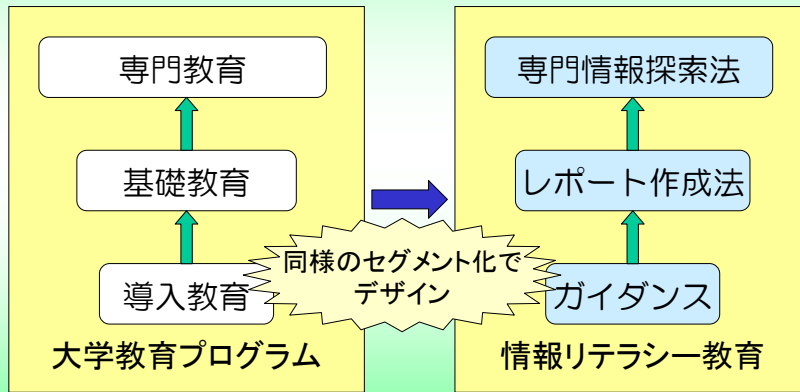
2.5 受講者アンケートの結果

1名につき、平均3項目有益と回答



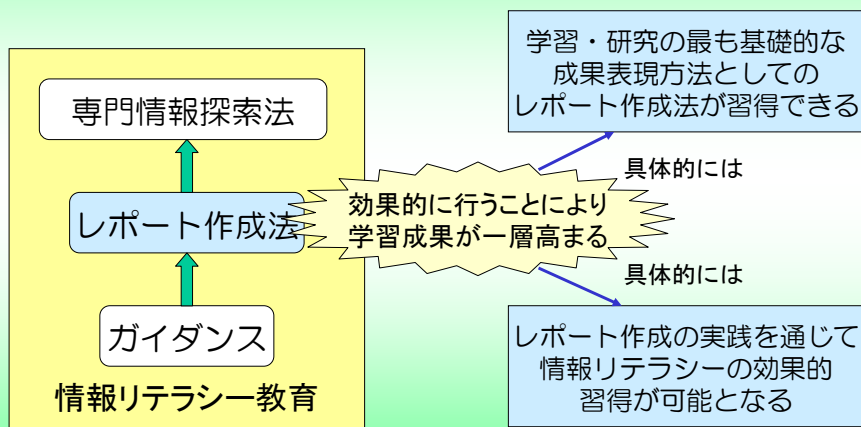
合計 25回, 100名の参加 (2006.4～2007.1)

3.1 情報リテラシー教育のデザイン



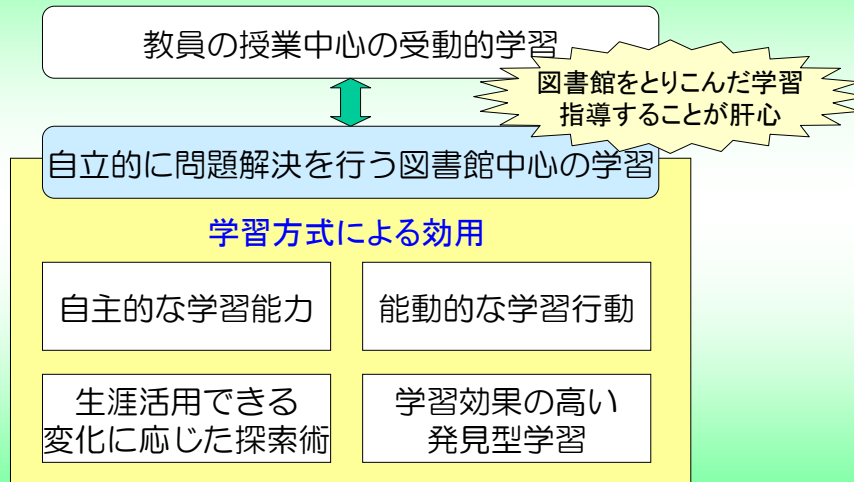
15

3.2 レポート作成を中心とした教育



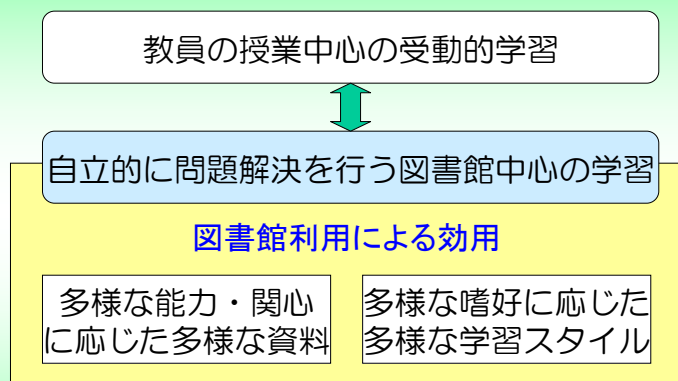
16

3.3 図書館をとりこんだ学習の効用



17

3.3 図書館をとりこんだ学習の効用



18

4.1 図書館をとりこんだ授業の実践

「図書館経営論」における学習方法

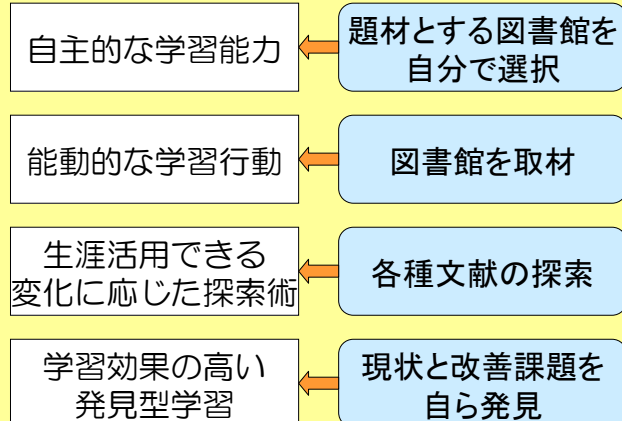
- ・自分のホームライブラリーを選択
- ・「現状と特色」について、文献収集と取材などでレポートを作成（3千字程度）
- ・「課題と改善策」について、文献を援用して考察し、レポートを作成（5～8千字程度）

八洲学園大学eラーニング授業の事例

19

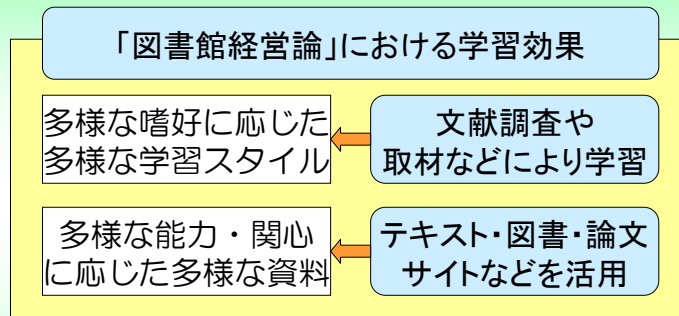
4.2 この授業の学習効果

「図書館経営論」における学習効果



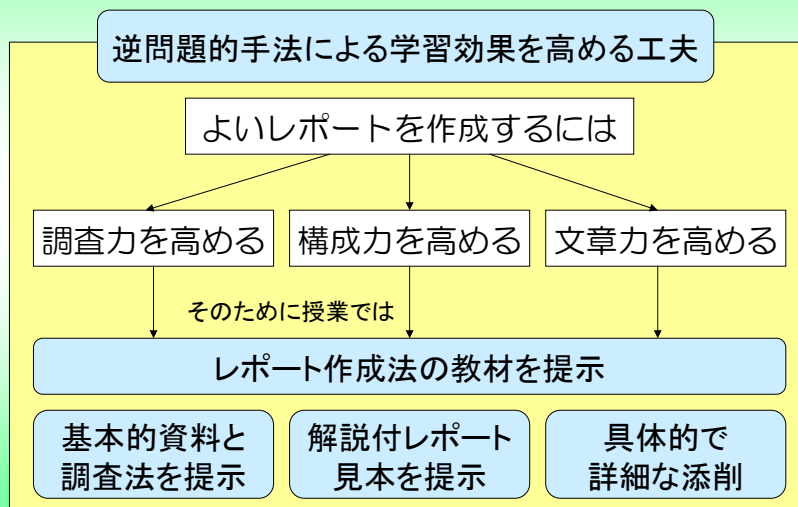
20

4.2 この授業の学習効果



21

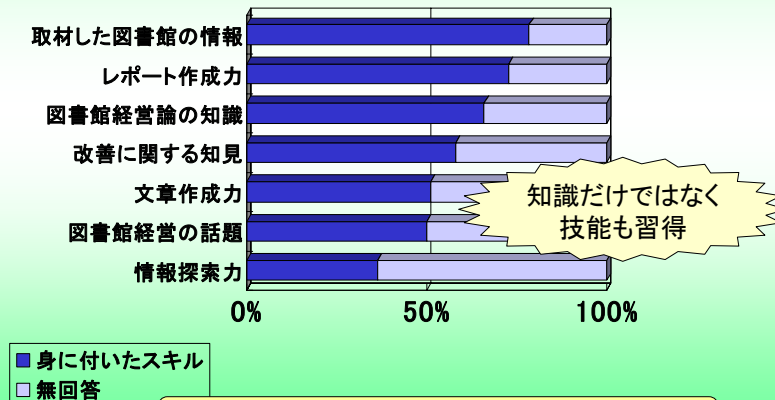
4.3 授業実践上の工夫



22

4.4 履修生アンケートの結果 (1)

1名につき、平均4項目のスキルが身に付いたと回答

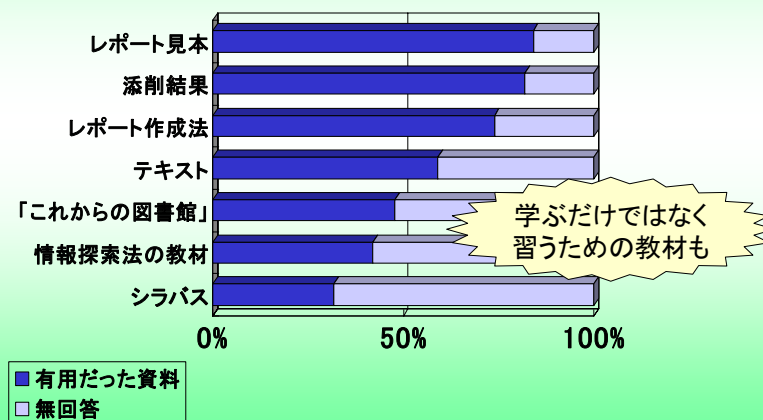


2006年秋期履修生 88名からの回答

23

4.4 履修生アンケートの結果 (2)

1名につき、平均4.5の教材が有用と回答



24

4.5 履修生からのコメント

- ・レポートを書くために、様々なことを調べたり取材して、今まで漠然と利用していた図書館のことを、良く知ることができた。
- ・テキストで知識を学ぶだけではなく、自分の頭で考えたり、色々な資料を調べたり、図書館員にインタビューしたりと、実践を伴った科目だった。
- ・与えられた課題をこなすのではなく、学ぶ姿勢・楽しさを教えていただいた。
- ・足を使ってレポートを完成する楽しさを知りました。
- ・レポートの枚数も多く大変でしたが、実力がついたと思います。
- ・苦しくも達成感のある科目でした。さみしい気持ちがあります。

25

5.1 新たな教材の作成

大学生のレポート作成法 (1) 文献を利用するレポート論述の基本

レポート内容
や論述法で
お困りの方



こうすれば
よいレポートを
書けますよ！

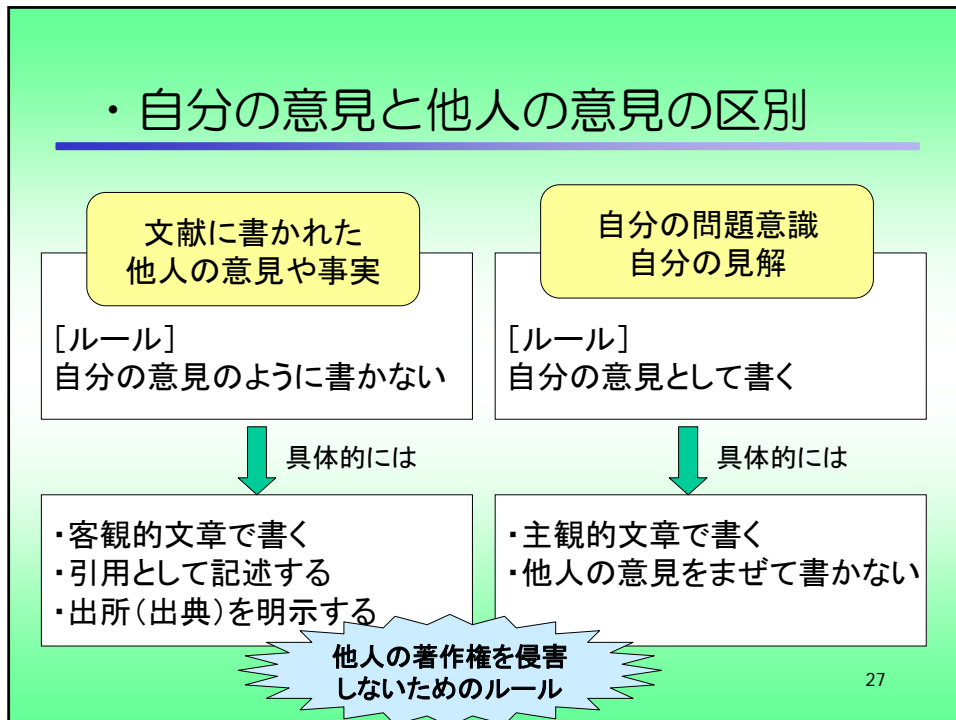
大学図書館支援機構

作成：米澤 誠

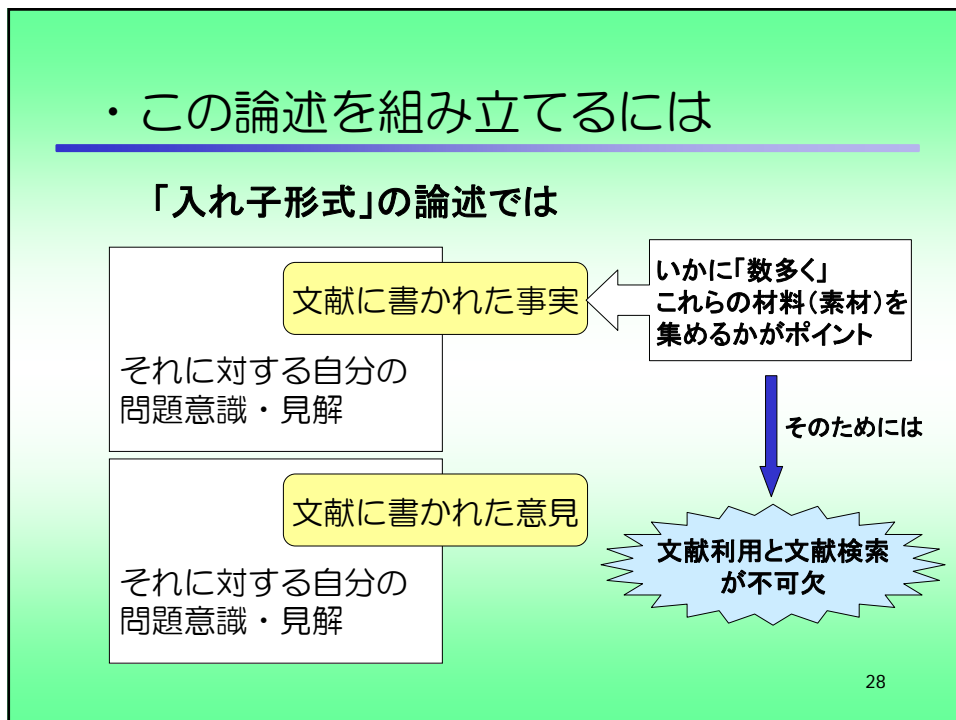
2008.6.16

26

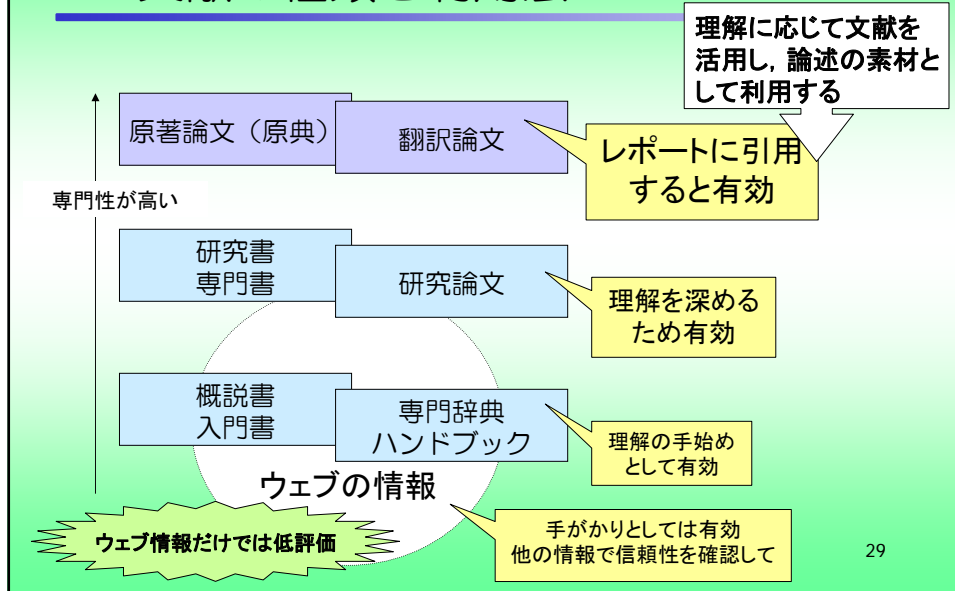
・自分の意見と他人の意見の区別



・この論述を組み立てるには



・ 文献の種類と利用法



5.2 新たな教材による講習会

図書館講習会
大学生のレポート作成法

レポートが苦手なあなたのために

その1 「基本中の初級編」

- ・ 6/16 (月) ・ 16:20~17:50
- ・ 6/18 (水) 同上
- ・ 6/23 (月) 同上

※ 各回とも同一内容です。

さらに内容を高めるために

文献を利用した論述
体裁の整った記述

その2 「基本中の中級編」

- ・ 6/30 (月) ・ 16:20~17:50
- ・ 7/2 (水) 同上
- ・ 7/7 (月) 同上

※ 各回とも同一内容です。

完成度を高める文章技術
内容を充実する構築技術

場所：中央図書館

30

6.1 注目したい動向 (1)

教員と協働したサービス展開

・金山亮子ほか, 日本におけるリエゾン・ライブラリアン,
専門図書館, 222, 2006, pp.15-20

- ◆教養科目のパスファインダーを作成する活動
- ◆職員が複数教員の科目を担当
- ◆これをスタートとして, 資料の整備・サービスなどに展開する予定

31

6.2 注目したい動向 (2)

学生が中心となるサービス展開

・東京女子大学の学生支援GP「マイライフ・マイライ
ブラリー」
URL:http://library.twcu.ac.jp/sogo/gp_syosai.htm

- ◆「学生の社会的成長を支援する滞在型図書館」
- ◆レポート作成法を含む情報リテラシー講習会
- ◆学習コンシェルジェの活動

32

6.3 注目したい動向 (3)

学生理解によるサービス展開

- ・上岡真紀子, 慶應義塾大学における利用者調査の事例, 情報の科学と技術, 58(6), 2008, pp.278-284
- ◆フォーカス・グループ・インタビュー
- ◆「場としての図書館」と「学習支援」の視点での分析
- ◆図書館員と学生の個人の関係づくり

33

7 文献・情報源

- ・学習・教育基盤としての図書館, カレントアウェアネス, CA1668, 2008.6
- ・学習意欲を高める図書館サービス, 大学時報, 315, 2007.7
- ・ブログサイト (授業履修生向け)
<http://blogs.yahoo.co.jp/bpxdx655>
- ・成果物の保存・公開書庫 (リポジトリ)
<http://book.geocities.jp/bpxdx655/index.html>

34